

# 「キリストについての預言」 イザヤ53章

はじめに： 聖書の預言・・・その不思議、驚き、正確さ  
イザヤ書と死海文書

## I. 預言の興味深い役割

- \* 大事な出来事は偶然で起こったのではなく、神のご計画だと証明するため  
アモス3：7 II ペテロ1：19
- \* 神の存在の証拠となるため イザヤ45：21 46：9～10
- \* 殉教者ユスティノス(紀元100～165年)

## II. キリストについての具体的な預言

旧約聖書にあるキリストについての預言は300以上があります。次のリンク(英語)を開くと旧約聖書の354の預言と新約聖書に書いてあるその預言の成就の箇所があります(イザヤ書だけから124の預言のリストを含む)：

<http://www.accordingtothescrptures.org/prophecy/353prophecies.html>

- \* キリストはどなたであるか  
神である・・・イザヤ9：6～7  
・・・イザヤ7：14・・・処女によって生まれる  
人間である、ダビデの子孫・・・エレミヤ33：14～15
- \* キリストはいつ来られるのか・・・ダニエルの70週の預言(2ページ参照)
- \* キリストはどこで生まれるか ミカ5：2
- \* キリストは何をするか  
地上の働き・・・イザヤ61：1～2  
罪の贖い(十字架による死、復活を含む)・・・イザヤ52：13～53：12  
(2ページ参照) この箇所の中から新約聖書に7回の引用がある

おわりに： 「日の出」 ルカ1：78～79

### グループの分かち合いのための質問：

1. なぜ聖書の預言は神の存在の証拠であるのですか。
2. キリストについての預言の中に、あなたにとって一番印象的な預言は何ですか。なぜですか。
3. イザヤ53章の一番好きな節は何ですか。なぜですか。

## いつキリストが来られるか？(ダニエルの70週の預言)

ダニエル9：20～27・・・「週」は当時のヘブル人の理解は7年のこと。最後の週は終末に関する預言だと思われているので、残る69週×7年＝483年。ダニエル9：25にあるエルサレムを再建せよという命令はペルシア皇帝アルタシャスタが紀元前445年に出した命令だと思われます(ネヘミヤ2：1)。そこから483年後はキリストが十字架に付けられる直前になる(ユダヤ人の一年は360日や別の計算も入るようです)。

細かい説明を見たい場合、下記のリンクを見てください。

<http://meigata-bokushin.secret.jp/index.php> (このリンクを開いたら、左側にある「ダニエル書」をクリックして、その後、「ダニエル書の瞑想」にある「09章1～27節」をクリックする。)

### イザヤ53：4～12

(預言の全部はイザヤ52：13～53：12なのですが、下記はその一部である)

<sup>4</sup>まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。→ {私たちの身代わりとなった。}

<sup>5</sup>しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され→ {はりつけと槍によって・・・ヨハネによる福音書19章34節を見なさい。}、私たちの咎 {罪} のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。→ {身代わりとなった、罪の贖い}

<sup>6</sup>私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。→ {身代わり、罪の贖い}

<sup>7</sup>彼は痛めつけられた。彼は苦しんだが、口を開かない。ほふり場に引かれて行く子羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。→ {マタイによる福音書27章12節}

<sup>8</sup>しいたげと、さばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことだろう。彼がわたしの民のそむきの罪のために打たれ、生ける者の地から断たれたことを。→ {身代わりとなって、そして主イエスが死ぬこともここで預言されている}

<sup>9</sup>彼の墓は悪者どもとともに設けられ、彼は富む者とともに葬られた。→ {マタイによる福音書27章57-60節} 彼は暴虐を行わず、その口に欺きはなかったが。

<sup>10</sup>しかし、彼を砕いて、痛めることは主のみこころであった。もし彼が、自分のいのちを罪過のためにいけにえとするなら、→ {神の最後のいけにえとなった、神の子羊}

<sup>11</sup>彼は末長く、子孫を見ることができ、主のみこころは彼によって成し遂げられる。彼は、自分のいのちの激しい苦しみのあとを見て、満足する。→ {復活：ルカによる福音書24章1-8節}、わたしの正しいしもべは、その知識によって多くの人を義とし→ {新約聖書の「義認」、ローマ5章21節}、彼らの咎を彼がになう。→ {身代わりとなり、罪の贖い}

<sup>12</sup>それゆえ、わたしは、多くの人々を彼に分け与え、彼は強者たちを分捕り物としてわかちとる→ {キリストの勝利を言っている}。彼が自分のいのちを死に明け渡し、→ {キリストが死んだこと} そむいた人たちとともに数えられたからである。→ {身代わりとなったこと} 彼は多くの人の罪を負い→ {身代わり、ペテロ第一の手紙2章22-25節}、そむいた人たちのためにとりなしをする→ {十字架からとりなしをした主イエス、ルカによる福音書23章33,34節}。